

この度はお買上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用ください。

取扱上のご注意

■温度について

時計を直射日光にさらしたり高温になる場所、また寒いところ等、温度差の激しい場所に長時間放置しないでください。進み・遅れ等の精度に支障をきたします。常温に戻れば精度は回復しますが、激しい環境は時計の寿命に影響しますので十分にご注意ください。

■ショックについて

ジョギング等の軽い運動程度のショックでは機械に影響はありませんが、キャッチボールやテニス等で生じるショックは出来るだけ避けてください。また、落下や激しい接触等のショックは与えないでください。

■磁気について

携帯電話・テレビ・ステレオ・電子レンジ等の家庭用電気製品や、家具やハンドバックに付いているマグネット等の近くや上に時計を放置しないでください。時計が磁気の影響を受けて、精度が乱れ、止まりや遅れの症状が出る場合があります。短時間の影響でしたら一時的な精度の乱れで、磁気を発する製品から遠ざければ回復します。改めて時刻を合わせてお使いください。なお、長時間影響を受けたり、短時間でも強い磁気の影響を受けると、時計の部品が磁気化されてしまうので、脱磁(磁気を消す作業)をしなければ精度は戻りません。その際は時計店にご依頼ください。磁界の強さは磁気を発生させる製品からの距離によって変わります。5cm 離すだけでその影響は弱まります。

■ネジ等の外装部品について

ブレスレット等の外装部品に使用されているネジ類は、可動部分であるため年月とともに少しずつゆるんでいきます。メガネのネジがゆるむのと同じ現象ですので、定期的にネジ類の増し締めを行ってください。また、外装部品(ブレスレット・革ベルト・裏ブタ)等は使用中、常に人体に触れている部分です。そのため汗・脂等の汚れが付着しやすい部分です。こういった汚れと空気中のほこり等のゴミが時計に付着すると外装部分の変色・欠落・破損や肌にかぶれ・かゆみが生じます。末長くご使用いただくためにも定期的なお手入れを行ってください。

■裏ブタのシールについて

ご購入時に時計の裏ブタに添付してあるシールは必ずはがしてご使用ください。

シールがついたままでご使用されますとサビが発生することがあります。

■お手入れについて

ケースやブレスレット(革ベルト)等の外装部分は常に人体に触れているため、たいへん汚れやすい部分です。外装部分に汚れ・汗・水滴がついているときは、吸湿性の良い柔らかな布で拭き取って常に清潔にしてください。

■日付調整について

①午後9時から午前3時までは、**日付調整を行わないでください。**

この時間帯は、日付を変更する歯車がかみ合っている時ですので、無理に調整されますと歯車が破損し、正しい時間帯に日付調整がおこなわれなくなる事がございます。

日付調整をされる時は、必ずこの時間外に針を動かしてから調整してください。

日付・時刻を合わせた後は、必ずリューズをもとの位置に戻してください。

もとの位置に戻さずにご使用されますと、水・湿気などが入り故障につながります。

②月末が短い月(2、4、6、9、11月)は、翌月1日にその分だけ日付表示がずれますので、合わせてご使用ください。



○お客様の体質によっては、かゆみ・かぶれが生じる場合がありますので、皮膚に異常を感じた時はご使用をお止めいただき、専門医にご相談ください。

○汗や汚れが付着したまま使用しますと、サビなど衣類への汚れの原因になる恐れがあります。こまめな洗浄を心掛けてください。

○力仕事や激しいスポーツをする時、就寝時や幼児の世話をする時など、身体に危害を及ぼす場合がありますのでご注意ください。

■防水性について

時計修理品として持ち込まれるものの多くに、水没・水の浸食があります。水の浸食による故障のほとんどは、ご使用上の原因によるものと思われます。

一般的に時計は非防水・日常生活防水・完全防水と大別されます。

日常生活防水には、3気圧防水（または3ATMや30M防水やWATER RESISTANTと表記）、

5気圧防水（または5ATMや50M防水やWATER RESISTANTと表記）などの分類があります。

3気圧防水は汗・はねた水滴の付く程度（水圧のかからない状態）、5気圧防水は3気圧防水をやや強化したのですが、実際に30Mや50M潜れる訳ではなく、水に浸すこととなる素潜りや水泳には適しません。防水性を表す数字は水圧を表しており、水道の蛇口から出る水などは水圧が高く、水のかかり方によっては日常生活防水の時計でも水が浸食する場合があります。

また、防水性は年月とともに劣化します。電池交換時などに合わせて、定期的な防水検査をお勧めします。（時計の防水性を保つパッキンが、長期間の使用により温度や水分や汚れなどの影響を受け、弾力性が失われて防水性が低下する為）

防水時計であっても、その防水性以上の水圧がかかった場合は水の浸食により故障となります。水の浸食による故障は、その大半が修理不能となり保証も適用されません。お持ちの時計の防水性を必ずご確認の上、ご使用には細心の注意をお払いください。

○ストップウォッチに関して

水中や水滴のついたままでのストップウォッチ操作は出来ません。水の浸食の原因となります。

使用例		汗はねた水滴がつく程度 (水圧のかからない状態)	雨や水がかかる (水圧の極端な変化がない状態)	水泳など直接水につける場合 (プールでの水泳程度)	ダイビング (空気ボンベを用いないもの) および マリンスポーツ	水滴の付いた状態での リユース操作
仕 様	5気圧 (5ATM・50m・WATER RESISTANT)	○	×	×	×	×
	10気圧 (10ATM・100m)	○	○	×	×	×
	15気圧 (15ATM・150m)	○	○	○	×	×
	20気圧・30気圧 (20ATM・30ATM・200m・300m)	○	○	○	○	×

ソーラーウォッチ時計(ソーラー充電式)

★この時計は、文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電池エネルギーに変換して時計を駆動させる、アナログソーラーパワー時計です。

■ご使用になる前に

十分に光を当てて充電してからご使用ください。

一度フル充電をすると、約4～6ヶ月間は充電しなくても時計は動き続けます。
(※ムーブメントにより駆動時間が変わります)

快適にこの時計をご使用いただくためには、常に余裕をもって充電することを心がけてください。
この時計はどんなに充電しても過充電の心配はありません。(過充電防止機能付き)
毎日の充電を心がけてご使用されることをおすすめいたします。

時計を外した時も、出来るだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。
日常、長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため充電不足になりやすいのでご注意ください。

■充電時間の目安

文字板の色によっては充電時間が異なります。あくまで目安としてご利用ください。

※充電時間は連続照射時間です。

※フル充電時間……時計が停止している状態から最大に充電されるまでの時間

※1日分の充電時間……時計を1秒運針で1日動かすのに必要な時間

照度 1X(ルクス)	光源	環境(目安)	フル充電まで	確実に1秒 運針になるまで	1日動かすには
700	蛍光灯	室内	—	18時間	69分
3,000		30W 20cm	52時間	4時間	15分
10,000	太陽光	曇天	16時間	1.5時間	5分
100,000		晴天	5.3時間	0.5時間	2分

■エネルギーについて

エネルギー残量が少なくなると、秒針が2秒ごとに動く「2秒運針」になります。

その後に、エネルギーが切れると時計が停止します。

「2秒運針」になったときは、十分な充電をしてお使いください。

- ・2秒運針中は、ストップウォッチの操作しても作動しません。(故障ではありませんので、ご安心ください。)
- ・ストップウォッチ計測中に2秒運針となった場合は、ストップウォッチ針が0分0秒位置に戻り測定がリセットされます。

⚠ ソーラーパワー時計取り扱い上の注意

充電上の注意

- ・充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので、高温下(約60℃以上)での充電は避けてください。
- ・白熱灯で充電する時は、必ず50cm以上離して、時計が高温にならないように注意して充電してください。

二次電池の交換について

- ・この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。但し、長期間使用されますと、歯車の汚れや油切れ等により電流消費が大きくなり、二次電池の容量が早くなります。定期的な分解掃除(有料)をおすすめします。
- ・お客様ご自身で、時計から二次電池を取り出さないでください。

ソーラークォーツ時計の使い方

この時計は、ソーラー充電機能で得られたエネルギー残量を確認できます。

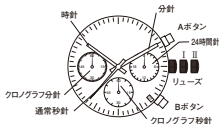
- ① クロノグラフがリセットされていることを確認します。
- ② ボタンBを2秒以上長押しします。
- ③ クロノグラフ秒針が「エネルギー残量」を示します。(約3秒間)
- ④ クロノグラフ秒針は自動的に「0秒」位置に戻ります。

エネルギー残量	十分 (約90日以上残量)	半分 (約90日～30日以上残量)	やや少ない (約30日以上残量)
クロノグラフ 秒針の位置	45 秒位置 	40 秒位置 	35 秒位置 

※「エネルギー残量」は目安としてお使いください

■時刻と日付の合わせ方

日付けきの時計はリユースを二段式に引き出すようになっています、一段引き出した位置（図：Ⅰの位置）でリユースを回すと日付が一日進みます。時刻を合わせるときは、リユースを二段引き出した位置（図Ⅱの位置）で行ってください。
合わせ終わりましたら、必ずリユースを元の位置に戻してください。



★このクロノグラフは、最大 29 分 59 秒まで 1 秒単位で測定し、表示することができます。
A ボタンを押すとスタートし、クロノグラフの秒針が 1 秒ごとに刻んでいきます。1 分を経過するとクロノグラフ分針が 1 目盛り動きます。もう一度 A ボタンを押すとストップします。リセットをするには、B ボタンを押してください。（スタートとストップを繰り返し、積算を行うこともできます。）

《スピリットタイム及び中間タイム計測機能》

- 1.A ボタンを押してスタートさせます。
 - 2.B ボタンを押すとスプリット機能が働き、もう一度 B ボタンを押すと測定中の時間に戻ります。
繰り返し行う事ができます。
 3. 終了するには A ボタンを押してから B ボタンを押してリセットします。
- （注）スプリット測定中に A ボタンを押すとクロノグラフ機能が中断されます。その場合は、B ボタンを二度押しリセットをしてからもう一度最初から測定して下さい。

クロノグラフ針の0修正 ※0位置に戻らない場合

1. リユースを 2 段引き出し、(Ⅱ) のポジションにします。
この状態で A ボタンを押すとクロノグラフの秒針が動きますので、0 の位置まで動かしてください。
ボタン A：1 回押す毎に、クロノグラフ秒針が 1 秒進みます。押し続ける間、早送りします。
ボタン B：1 回押す毎に、クロノグラフ秒針が 1 秒戻ります。押し続ける間、早送りします。
※ストップウォッチ針（秒・分）は、連動して動きます。
2. 修正が終わりましたら、必ず元のポジションまでリユースを戻してください。

保証規定

時計をご使用中、正常なご使用状態で自然故障を生じた場合は、下記保証規定により、1年間無料修理を行います。

■保証の対象になる部分

クォーツ時計の内部部分(電子回路、駆動系機械部分)、ただし電池、革ベルト等の消耗品、ケース、ブレスレット類の小キズ、汚れやガラスの破損による外観の変化は除きます。

■保証方法

修理・調整を原則といたします。修理の際、ガラス・ケース・文字盤・針・バンドなどは、一部代替品を使用させていただきます場合がありますのでご了承ください。

■保証を受けるための条件

修理・調整の際は必ず現品に保証書を添えてお買上げ店にご持参ください。なお、保証書が添えてあってもお買上げ店名及び購入日の記載のないものは無効とさせていただきます。

■保証の適用除外

保証期間中であっても次の場合は有料修理となりますのでご注意ください。

- 誤ったご使用、お客様自身による修理、改造または、お取り扱いの不注意による故障。詳しくは、取り扱いの項をご参照ください。
- 保証書の提示がない場合。
- 保証書にお買上げ店名、ご購入日の記載のない場合。また、保証書の記載事項に訂正のある場合。
- 天災、火災、事故による故障、破損の場合。

※保証書は上記保証規定により無料修理を保証するもので、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証は日本国内のみの適用とさせていただきます。

保証カード(別途付属)に下記項目をご記載の上、大切に保管してください。

保証期間は商品到着日より1年間となります。

修理問合せ先

株式会社ウエニ貿易サービスセンター
東京都台東区池之端1-6-13 境会館 2階

TEL.03-5842-1159
FAX.03-5815-8202

保証書記入用紙	
購入日	購入日(商品到着日)
購入サイト	購入サイト名
商品型番	商品型番